

7 本時の学習

(1) 本時の目標

10000未満の数の数え方と命数法、記数法、4位数の位取りの仕組みを理解する。

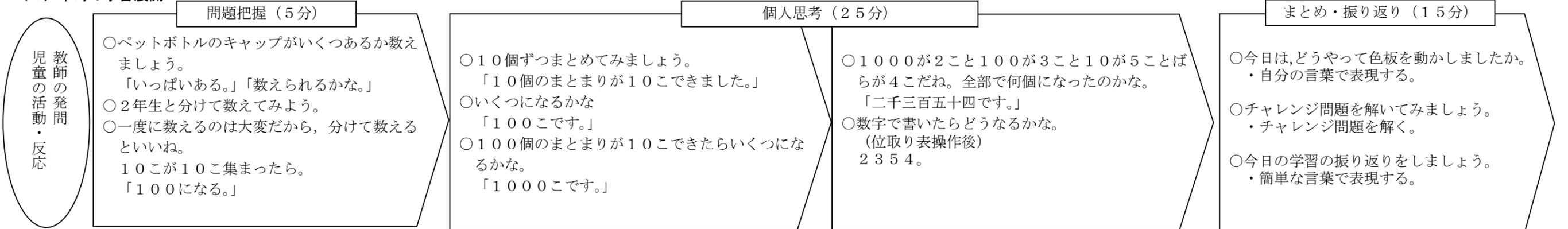
(2) 本時の評価規準

ア 既習を基に、10や100と同じように1000のまとまりを作って数え、数字を使って表すことができる。

(3) 本時で育成したい資質・能力

A 活動内容を理解し、10や100のまとまりを作りながら数を数え、表すことができる。

(4) 本時の学習展開



児童の活動・反応

11/11	1000よりおおいかず	ぜんぶでいくつになるのかな。	まとめ								
めあて	どうやって数えたらいいか考えよう。	1000が2つで2000 100が3つで300 10が5つで50 4つのこつてる 二千三百五十四こだ どうやって書くのかな	千を2つ集めた数を二千といいます。 二千と三百五十四をあわせた数を二千三百五十四といいます。								
よそう	○10こずつかぞえる。 ○10こでまとめる。 ○集まったら100こずつまとめる。	千のくらい 百のくらい 十のくらい 一のくらい	チャレンジ チャレンジ問題								
図	○100が10こで1000だ。 ○1000が2つあったよ。 ○100が3つで10が5こ。 ○4このこつてる。 ○全部でいくつかな。	<table border="1"> <tr> <td>1000 1000</td> <td>100 100 100</td> <td>10 10 10 10 10</td> <td>1 1 1 1</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>3</td> <td>5</td> <td>4</td> </tr> </table>	1000 1000	100 100 100	10 10 10 10 10	1 1 1 1	2	3	5	4	ふり振り返り 10や100や1000ずつにして数えられました。 二千三百五十四の書き方が分かりました。
1000 1000	100 100 100	10 10 10 10 10	1 1 1 1								
2	3	5	4								
		できた。2354だ。									

指導・支援

○単元全体を貫く課題をおさえ、本時の学習のねらいを明確にする。  
○学習意欲を引き出すために、図や学習シート等で、わかりやすく操作しやすくする。

○10, 100, 1000のまとまりを作り、丸で囲むことでまとまりをしっかりと意識させる。  
⑦10や100, 1000ずつのまとまりを作って数を数えている。(発言, 行動観察)

○位取り表を見て、具体物を操作しながら、2354の表記について考えさせる。  
○100の位に一旦100を10個置いてから、1000に変身させるなど、10進位取り法の理解を視覚的にとらえさせる。  
④10や100, 1000のまとまりを作りながら、進んで課題解決をしている。  
⑦位取り記数法を理解し、2354と書き表している。(行動観察)

○本時のめあてに対するまとめを簡潔な言葉で表す。  
○チャレンジ問題を解かせ、本時の学習が理解できているか自分で確認できるようにする。  
○振り返りを簡単な言葉で表現させ、本時の学習がよくわかったか・楽しく学習ができたかを自分で振り返られるようにする。